2013／6／13(木)発行　　第14号

がんばれ大分　がんばろう大分人

良友会ニュース

～ みんなのまちづくり　みんなでまちづくり ～

大分市議会議員いでぐち良一後援会

「良友会」

公式ブログ http://www.bocra21.jp/blog/

良友会事務所　大分市六坊北町4485－5

Tel　097－545－3458

Fax　097－545－3477

メールアドレス　kakashi@sweet.ocn.ne.jp

【発行責任者】井手口良一

6月議会でのわたしの一般質問の順番は3番目で**明日午前11時前後**からです。

質問項目は①保育行政・幼児教育②市民協働③商工農政④災害対策⑤契約管理⑥市営温水プールの指定管理者の6項目で、１８の要点を一問一答方式で質問します。

ネットでの生中継と大分ケーブルテレビでも傍聴できます。(ネット中継は大分市議会のHPを開いていただければ、そこからつなげます)

　またあ、過去の議会の映像も「録画中継」としてみることができますので、是非傍聴いただき、ご意見などをお聞かせください。」

我が国の幼稚園と保育園の歴史

わが国で最初の幼稚園は明治9年(一八七六)に、東京女子高等師範学校(現お茶の水大学)付属幼稚園が設立されています。保育園はといいますと、戦前は国の仕組みの中にはありませんでした。乳児院や託児所として、財閥系や宗教団体のボランティア的な施設しかなかったのです。戦後昭和23年(一九四八)に児童福祉法が制定されて初めて正式に公立の保育園が設置されるようになり、さらに社会福祉法人による認可保育園も出現しました。

幼稚園が幼児に対する教育施設、つまり学校に準じた施設であるのに対して、保育園は憲法と児童福祉法で子どもたちに保障されている良好な保育環境を享受できない子どもたちに、保護者に変わってそれを提供するための施設、つまり「かわいそうな子どもたち」の施設であるとの認識が、長く行政職員の間にあったことは否めないと思っています。

幼稚園の先生は教諭であり先生ですが、保育士は保母、ベビーシッターというのが世間の認識でもありました。わたしは、まずそこから改めようと頑張っています。ゼロ歳児からの初期幼児教育の重要性を唱えているのも、そのためです。

　まだまだ、幼稚園教諭と保育士の間には、溝がありますが、そこを乗り越えてこそ、本当の幼保一元化が実現するのです。

大分市の温水プール：今年度からこの施設の指定管理者に全国大手の会社が決まりました。その決定までの手続きには問題はないのですが、正式契約後のこの会社のグループの動きに、わたしは不信感を抱いています。プールという施設の性格上、まずは安全と衛生を第１にすべきと言い続けています。これから、水質やシャワー室など周辺部分の衛生管理など、注意深く監視していきたいと思っています。地元の業者でないため、採算を最優先した管理体制で、いざとなれば東京に引き上げてしまうなどという事だけは許したくありません。お気づきの点は間をおかずにお知らせください。行政改革よりも市民の生命や健康の方が優先されるのですから。

質問の順番：代表質問は会派メンバーの多い順に発言順位が固定されていますが、一般質問は考案日の中日に抽選によって決められます。わたしは発言通告書をいつも真っ先に出すことにしていますが、くじ運次第で、有利な順番になるとは限りません。今回は初日の朝ですから、急なお知らせとなってしまいました。

編集後記：お陰様でこのメルマガは皆さんによく読んでいただけているようで、感謝しています。ただ、目下のわたしの最大の心配事は７月の参議院選挙結果です。どうか皆さん投票に行ってください。(I)